

2026年度

アカデミックポテンシャル入試

60分

清泉女学院中学校

サグラダ・ファミリアの未来

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

スペイン北東部のカタルーニャ地方にあるバルセロナは、地中海に面した港町として古くから発展してきました。現在ではヨーロッパでも有数の観光都市として知られています。その街の中心部にそびえるのが、世界的に有名なカトリック教会「サグラダ・ファミリア」です。街の象徴ともいえるこの大聖堂は、スペインを代表する建築家アントニ・ガウディが設計したもので、彼の豊かな想像力と深い信仰心が形になった建築として、世界中の人々を魅了しています。

サグラダ・ファミリアの建設が始まったのは^①1882年で、すでに140年以上がたっています。ガウディは1883年から設計を引き継ぎ、亡くなる1926年までこの建築に人生を捧げました。工事が長く続いている原因として、ガウディが^Aイ^ト的に非常に複雑な設計をしたことが^Bア^げられます。自然界の造形から着想を得た柱や塔、光を美しく取り入れるステンドグラスなどは、当時の建築技術では再現が難しく、研究と改良を重ねながら工事が進められてきました。



この大聖堂には複数の塔がありますが、中央に立つ^②キリストの塔が最も高いものとして設計されています。当初はガウディの没後100年にあたる2026年に教会全体の完成を目指していましたが、新型コロナウイルス流行などによって工事が遅れ、全体の完成は2030年代にずれ込む見通しです。しかし、キリストの塔は工事が順調に進み、今年中に完成するといわれています。現在は最上部の仕上げや装飾の作業が進められており、その姿がまもなく世界に披露される予定です。この進展は、多くの人々に希望を与えています。

サグラダ・ファミリアは1984年、ガウディの他の建築群とともに^③世界遺産に登録されました。まだ完成していない建物が世界遺産となるのは極めて珍しく、その文化的・芸術的価値の高さを示しています。ガウディの建築には、直線をできるだけ使わず、曲線や自然の形を多く取り入れるという特徴があります。彼は「自然の中に神の意志を見ることができる」と考えており、その思想を建物の形に表しました。そのため、サグラダ・ファミリアの中に入ると、まるで森の中にいるような感覚を覚えるといわれています。

また、バルセロナにはサグラダ・ファミリア以外にも、ガウディの作品が数多く残されています。グエル公園、カサ・ミラ、カサ・バトリョなどはいずれも^Cドクソウ的なデザインで知られ、世界中の観光客を惹きつけています。こうした建築群とともに、サグラダ・ファミリアは「バルセロナ＝ガウディの街」という印象を世界中の人々に残しています。

サグラダ・ファミリアの建設は、単なる建物づくりにとどまらず、スペインの文化や信仰、そして人々の努力の象徴でもあります。長い年月にわたる工事は、資金難や戦争、技術的な課題など多くの困難に直面してきましたが、そのたびに市民や信者、そして多くの支援者の協力によって乗り越えてきました。こうした

歴史そのものが、サグラダ・ファミリアを「生きている世界遺産」と呼ぶにふさわしい理由になっています。

しかし、このように世界中から注目を集める建築であるからこそ、新たな問題も生まれています。それが「オーバーツーリズム」と呼ばれる現象です。オーバーツーリズムとは、観光地にあまりにも多くの観光客が訪れることで地域の人の生活や自然、歴史的な建物などに悪い影響が出てしまうことを指します。騒音や渋滞、ごみの増加、景観の悪化などさまざまな形で地域社会に負担をかけており、「観光公害」とも呼ばれています。こうした問題を乗り越え、サグラダ・ファミリアのような文化遺産を未来へと受け継いでいくことが、私たちの大切な課題といえます。

完成までにはまだ時間がかかりますが、ガウディの情熱と信念が息づくサグラダ・ファミリアは、これからもスペイン、そして世界の人々にとってかけがえのない文化的財産であり続けるでしょう。

問 1. 文中の下線部 A～C を漢字に直しなさい。

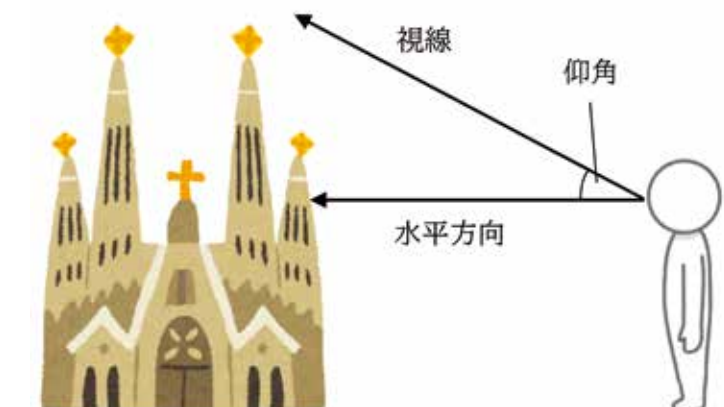
問 2. 下線部①「1882年」とありますが、19世紀の日本に関連する次の出来事 A～C を、時代の古いものから順に並べたとき、並び方として正しいものを、下のア～カから選び、記号で答えなさい。

- A 日米修好通商条約が結ばれた。
- B 日清戦争がはじまった。
- C 富岡製糸場がつくられた。

ア A→B→C イ A→C→B ウ B→A→C エ B→C→A オ C→A→B カ C→B→A

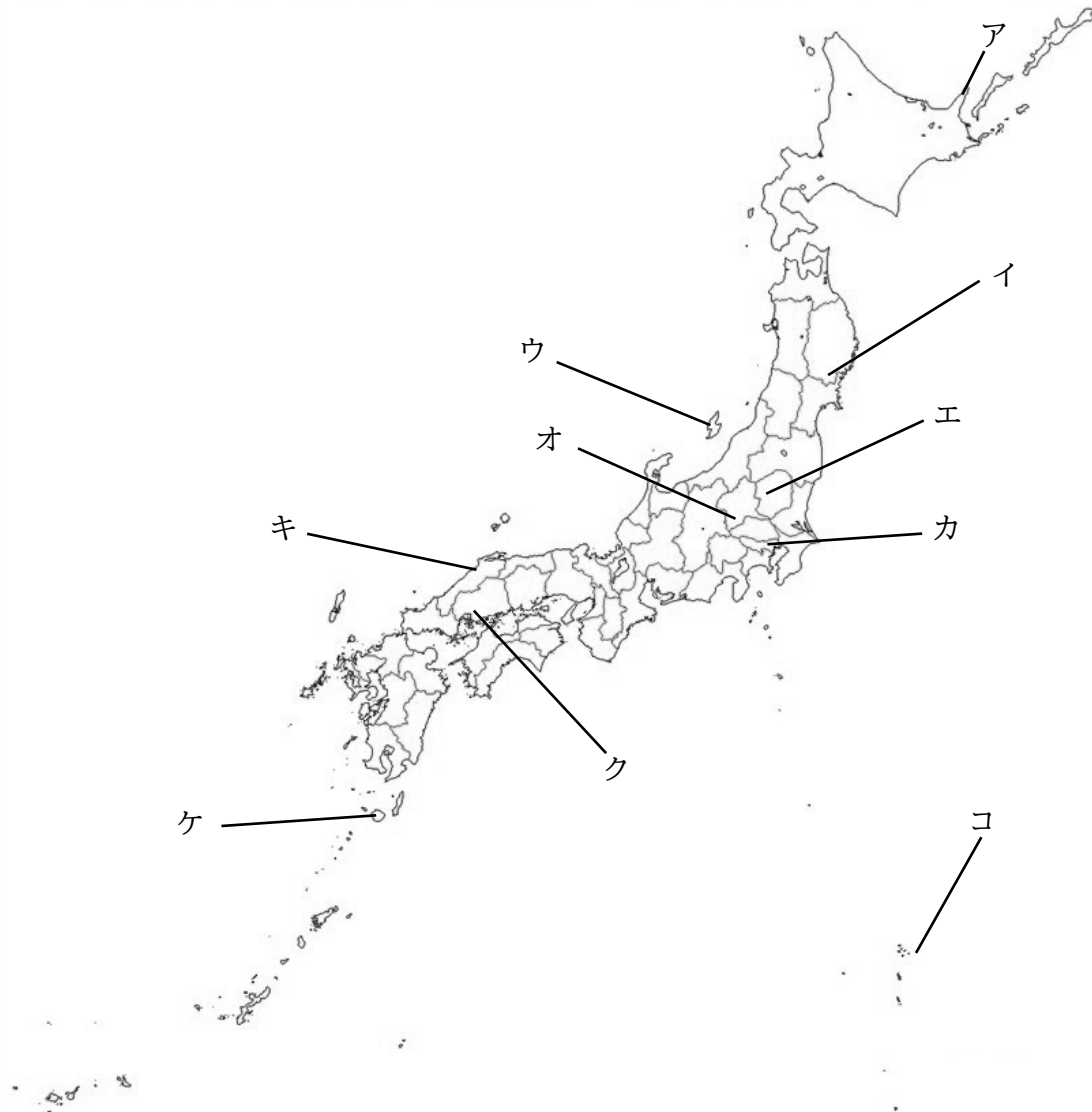
問 3. 下線部②「キリストの塔」とありますが、地点Aからキリストの塔の頂上を見ると、仰角※は45度であり、塔に向かって70メートル進んだ地点Bでは仰角は60度でした。このときキリストの塔の高さは何メートルですか。式や図、考え方などもふくめて答えなさい。なお、それぞれの角が「45度・45度・90度」の直角三角形の辺の長さの比は「5:5:7」、「30度・60度・90度」の直角三角形の辺の長さの比は「10:17:20」とし、地面から目までの高さは無視してよいとします。

※仰角…右図のような視線と水平方向とのなす角。



問4. 下線部③「世界遺産」とありますが、次の(1)～(4)の説明に当てはまる世界遺産の場所を、下の日本地図のア～コからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- (1) 1945年、アメリカが落とした原子爆弾^{ばくだん}の爆風を受けながらも、この建物は倒れずに残った。その後、戦争の悲惨^{ひさん}さを伝える「負の遺産」としての価値が認められ、1996年に世界遺産に登録された。
- (2) 東京23区ほどの広さの島には、1000mを超える山々^{さん}が続き、「洋上のアルプス」と呼ばれている。海辺から山の上まで、気温の変化によって植物が変わる「植生の垂直分布」が見られる。中でも有名なのは、樹齢^{じゅれい}1000年以上の杉^{すぎ}である。
- (3) 世界でも珍しい首都にある自然遺産で、この地域だけに住む動植物が550種以上いる。特にカタツムリの仲間は、この地域で確認されているうちの約95%がこの地域にしかない種で、他の地域から来た生き物が環境に合わせて進化^{かんきょう}した例として知られている。
- (4) 16世紀の終わりから400年以上にわたり金や銀が採掘^{さいくつ}され、鉱山の町や集落が発展した。機械化が進んだ世界の中で、手作業による高度な技術^{きこう}を続けた珍しい例として評価され、2024年に世界遺産に登録された。



問5. スペインの定番料理にトルティージャ(スペイン風オムレット)があります。材料と作り方は以下の通りです。

〈材料〉

卵	4 個
じゃがいも	3 個
玉ねぎ	1/4個
オリーブ油	大さじ2
塩	小さじ1/2
こしょう	少々



〈作り方〉



① 玉ねぎはみじん切りにし、じゃがいもは皮をむいて、芽を取り除き、1cmの角切りにする。



② 卵をボウルに入れて割りほぐし、塩とこしょうで味をつける。



③ フライパンにオリーブ油を入れて熱し、玉ねぎとじゃがいもを炒める。



④ ②に炒めた玉ねぎとじゃがいもを入れる。

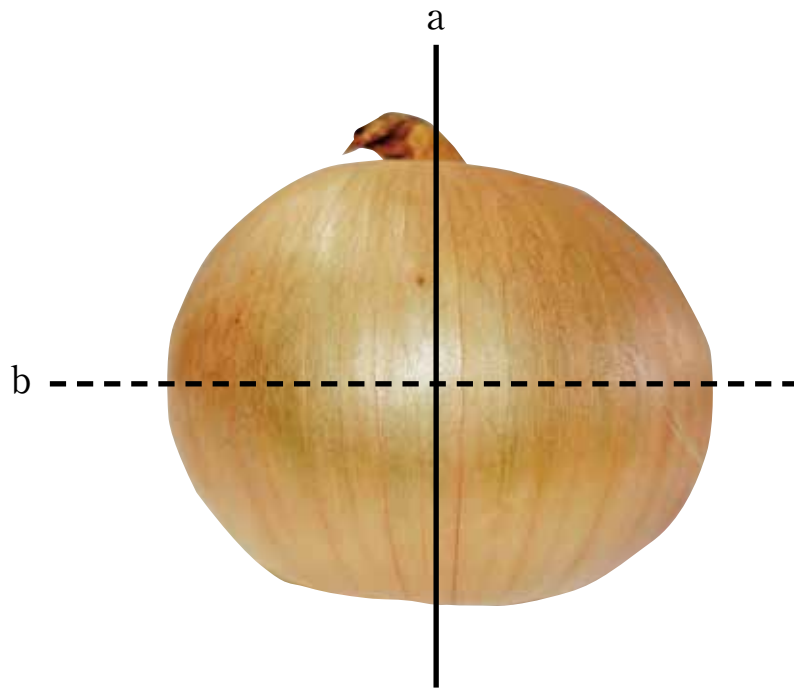


⑤ フライパンにオリーブ油を入れて熱し、④を入れて弱火でじっくりと加熱して両面を焼く。

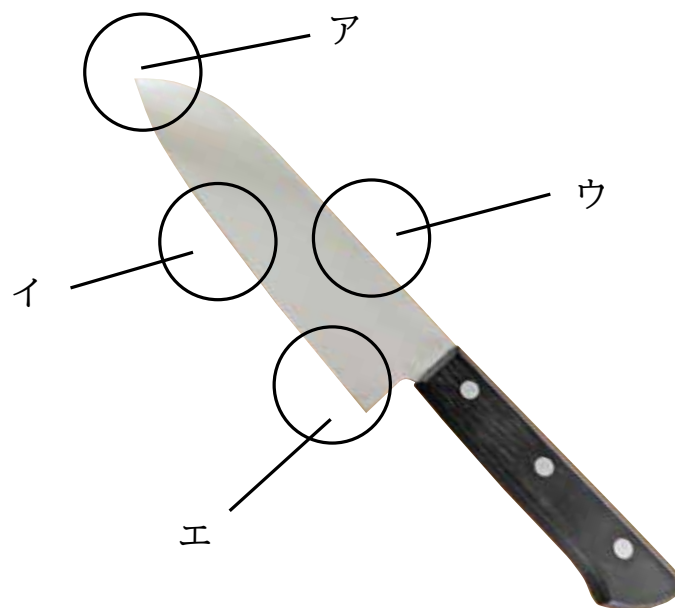


⑥ 完成

- (1) 〈作り方〉①では玉ねぎを切っています。玉ねぎを下の線 a・b で切った際の断面の様子をそれぞれ解答用紙の図に書き加えなさい。



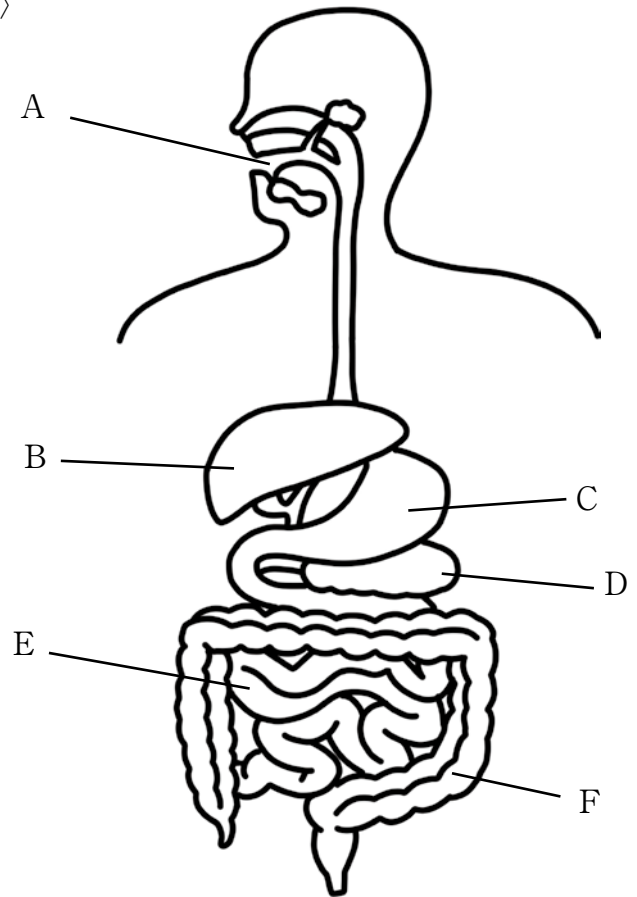
- (2) 〈作り方〉①ではじゃがいもを皮をむいたり、芽を取り除いたりしていますが、この際使うのは包丁のどこの部位ですか。下のア～エからもっともふさわしいものを選び、記号で答えなさい。



- (3) ジャガイモの主な栄養素と、その栄養素を分解する体の部位の組み合わせとしてもっともふさわしいものを下のア～オから選び、記号で答えなさい。

	〈栄養素〉
ア	炭水化物
イ	炭水化物
ウ	脂質
エ	脂質
オ	タンパク質

	〈分解される場所〉
A・E	
B・D	
C・F	
C・D	
A・D	



問6. サグラダ・ファミリアにはその一部に大理石が使われています。大理石は^{せっかいがん}石灰岩の一種です。石灰岩について次の問いに答えなさい。

(1) 石灰岩のでき方としてもっともふさわしいものを下のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア マグマがゆっくりと冷えて固まってできた。

イ 火山灰が固まってできた。

ウ 海中のサンゴなどが固まってできた。

エ 陸上の植物が積み重なり、固まってできた。

(2) 細かく^{くだ}砕いた石灰岩を水溶液^{すいようえき}A～Dに入れたところ、水溶液Dでは気体が発生しました。水溶液A～Dは、塩酸・食塩水・水酸化ナトリウム水溶液・アンモニア水のいずれかです。

① 水溶液Dに入れる石灰岩を細かく砕くと、反応が起こりやすくなります。その理由を説明しなさい。

② 水溶液Dは何ですか。下のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 塩酸 イ 食塩水 ウ 水酸化ナトリウム水溶液 エ 判断できない

③ 水溶液A～Cは石灰岩とは反応しなかったので、別の方法で区別することにしました。どの水溶液がアンモニア水か調べる操作としてふさわしいものを次のア～エからすべて選び、記号で答えなさい。

ア においをかぐ イ 電気を通す ウ 蒸発皿にのせて加熱する エ スチールウールを加える

問7. スペインでは公用語としてスペイン語が話されています。次のスペイン語とその日本語訳を読み、次の問いに答えなさい。

casas negras：黒い家々

edificios altos：高いビル群

edificio bajo：低いビル

puerta blanca：白いドア

techo alto：高い天井

techo bajo：

：白い家

(1) に当てはまる日本語を答えなさい。

(2) に当てはまるスペイン語を答えなさい。

問 8. 二重下線部「オーバーツーリズム」について、別紙資料を参考にして次の問いに答えなさい。

- (1) 観光客の増加がもたらす影響について述べた文としてもっともふさわしいものを下のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア バルセロナでは民泊^{みんぱく}が増えた結果、地元の人たちは手頃^{てごろ}な家賃で住宅を借りることができるようになった。

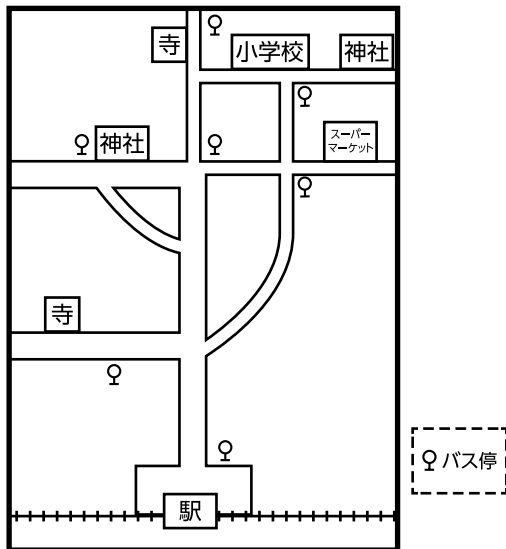
イ 訪日外国人数は2018年から増え続けており、百貨店の売り上げ増加も続いている。

ウ 「せとうち」地域では、富裕層^{ふゆうそう}をターゲットに誘客^{ゆうきゃく}を行った結果、住民の半数以上は、経済的によい影響を感じている。

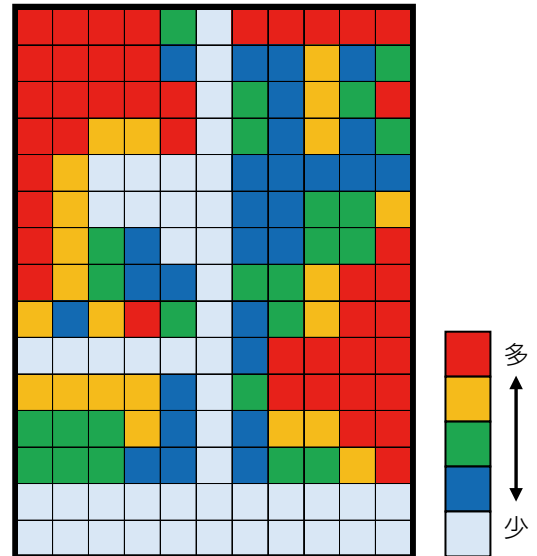
エ アドベンチャーツーリズムは、グリーンツーリズムと比べて経済効果が大きいと考えられている。

- (2) オーバーツーリズム対策として、国際的に有名な大都市から地方に観光客を広げる試みが進められています。観光振興^{しんこう}、地域活性化、環境保全の3つのバランスをとりながら、地方に観光客を向かせるためにはどのような観光のあり方が考えられますか。また、その課題として考えられることは何でしょうか。具体例をあげて、文章で答えなさい。

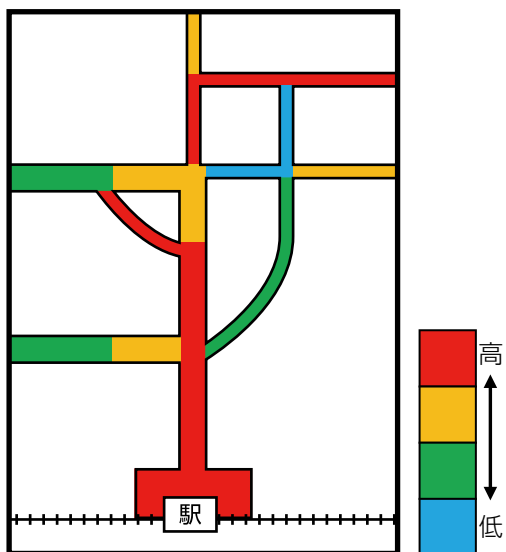
- (3) オーバーツーリズムの問題は多方面にわたりますが、観光客を受け入れる観光地は、それらに対応していかなければいけません。下の図のA駅周辺は寺や神社への参拝や、神社の近くにある竹林の立ち並ぶ遊歩道の散策、駅前の観光客向けの商店街での買い物や食べ歩きなどが盛んである一方で、オーバーツーリズムの問題が起きています。オーバーツーリズムに対処するためにこの街はどのような取り組みを行えばよいとあなたは考えますか。下に示したA駅周辺の地図や人口分布図などを参考に、どのような問題が起きていそうか考え、その問題と、それに対処するために必要な取り組みをそれぞれ2つ説明しなさい。



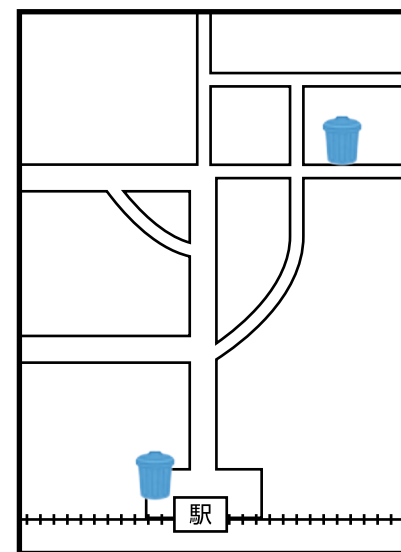
【A駅周辺の地図】



【A駅周辺の人口分布】



【15時のA駅周辺の道の混雑度】



【A駅周辺のゴミ箱の設置場所】

